

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

第1回：令和6年度 学校運営協議会（発信者ごとの要点議事録）
日 時：令和6年 4月5日（金曜日） 13：30～14：35
場 所：西東京市立田無第二中学校 会議室
出席者：折田 和文（会長）、五十鈴委員（副会長）、勇 昇一委員、山崎 英昭委員、一之瀬 裕幸委員、本間 孝子委員、奥村 咲子委員、吾妻 隆一委員、矢野 尊久委員、南川 広幸委員 全員出席により、本会議は成立
<p>次第1 事務局より 司会：副校長 ・校長挨拶</p> <p>校長： 田無第二中学校の校長です。年度当初のお忙しい中、本校の学校運営協議会にご出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>私も二中に赴任してから今年で5年目となります。本校は落ち着いた学校で地域のご協力も多くあり本当に良い学校だと思っております。今年度も学校運営協議会に新しいメンバーをお迎えして、また新たな気持ちで皆様のご協力やご意見を頂きながら“より良い学校づくり”“地域のために何ができるか”を考えていきたいと思っておりますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>副校長：自己紹介をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>校長： 来週月曜日から新学期が始まりますが、新入生は127名で4学級。2年生も4学級で3年生は人数が少ないので3学級でのスタートとなります。コロナによる規制も少なくなってきましたので、今年度は通常通りの入学式を実施予定しています。体育館の収容人数の関係上、新1年生と在校生代表としての新2年生の出席の入学式となります。学運協の皆様にも是非ご出席を頂きたいと思っております。</p> <p>副校長：副校長をしております。皆様にはいつもご協力をいただき大変感謝しております。様々な活動などを学校からお願いする時や皆様からのご提案などをいただく時などの窓口と考えていただければと思います。何かありましたら、メールで副校長宛に送信していただければ、直ぐに確認するようにしておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>私自身は本校3年目となり、ようやく少し慣れてきました。まだご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞ今年度もよろしくお願いいたします。また、本日は記録係として主幹教諭がこの会議に参加しておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>教諭： 記録係として出席しております。私は学校コミュニティスクールの推進員として、校内で校長、副校長に次ぐ役割を担っております。管理職不在の際には私がお話を承ることもできますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>委員1： 二中の同窓会会長をしております。</p> <p>5月11日に同窓会総会があり、予算計上などを行うことで学校の中で必要な物などを諮っていきたく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>委員2： 今年度PTA会長を致します。何もわからないなかで大役を引き受けてしまい皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>委員3： 引き続き近所の地域企業として、委員を今年度も務めさせていただきます。</p> <p>私自身は地域住民ではありませんが、この地域の会社の者としてこの地域に何か貢献したいと思っております。昨年は職業体験の受け入れをさせていただき、今年度もまた何かお力になれることをやってきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>副会長： 小学校育成会代表で参加しておりますが、3年前から学区変更で二中の方に関わることになり3年目となります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。</p>

会長： 商店会代表として参加しております。二中とは長い付き合いで関わっております。よろしくお願いいたします。

委員 4： 小学校青少年育成会会長をしております。谷戸二小とは10年くらい関わっておりますが、今年度から会長を引き受けさせていただいております。皆様には育成会のイベント等ではご協力いただきありがとうございました。普段は市議会議員をさせていただいており、ほとんど市内にいますので、よろしくお願いいたします。

委員 5： 谷戸公民館で分館長をしております。去年から引き続き委員をさせていただいております。本庁の方から現在の公民館に赴任して2年目となります。机上に谷戸館祭り等のチラシを置かせていただきましたので、後ほどご説明をさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

委員 6： 民生委員をしております。子供も二中にお世話になり、地域貢献ということで参加させていただいております。よろしくお願いいたします。

副校長： この10名で今年度の学校運営協議会を進めて行きたいと思っておりますので皆様よろしくお願いいたします。

それでは会長互選に移りますが、推薦者の方よろしくお願いいたします。

副会長： 引き続き、会長をお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委員全員： 拍手。よろしくお願いいたします。

副校長： 今年度も学運協の会長としてどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、協議会に移りたいと思っておりますので、会長に司会をお願いしたいと思います。

次第 2 協議会 司会：会長

・会長挨拶

会長： 学校運営協議会CSが始まって今年で3年目になり、3年間ずっと会長を務めさせていただいております。皆様のご協力なくしてはできないことですので、引き続きよろしくお願いいたします。

では、学校経営方針の説明・承認に移りたいと思っております。

・学校経営方針・承認

校長： 学校運営協議会コミュニティ・スクールが3年目を迎え、地域との協働活動ということで学校も地域に協力し、地域の方々にも学校の教育について一部お願いして進めていこうということで、お互いにメリットのあるような運営ができればと思っています。

まず初めに校長が立てる経営方針案についてこの場できちんと了解を得てから職員に提示した方が良くと考え、始業式の前のお忙し中で皆様にお集まりいただきました。今後、学校評価表、学校の経営方針に従った数値目標を立てて“どの程度達成できたか”ご提示いたしますので前期と後期に分けて皆様のご意見や感想などの評価を皆様にお願することになります。これから一番大事な学校経営方針についての説明をさせていただきますので、少し長くなるかと思いますがよろしくお願いいたします。

A3の資料をご覧くださいと思います。下線の部分が新しく一部変わったものや新しくなったものです。

・資料 I 創意工夫する田無第二中学校へ

1点目は学校に関係する教職員が共に働き、皆が自主的に学校経営に参加し、創意工夫された中学校を築くという事です。

従来通りということだけでなく、新しもの、より良いもの、時代とともに変化してきている子どもたちの実態に合った教育を教職員が協力しながらやっていくということです。

次は、生徒が主体となる学校として、人権尊重や虐待のないことの意味を込めて自他ともに大切にしながら、体験や対話などの総合学習を考えながら学び続ける創意工夫された田無第二中学校を築いていく。西東京市では“ふるさと探求学習”などの総合的学習を大変重要視しています。また、考えながら学び続ける“粘り強さ”が評価の考え方や学力の三要素にあることもあり、生徒も創意工夫しながら田無第二中学校を築いていくということです。これは資料裏面にもありますが、令和6年度から10年度の西東京市教育計画基本方針が新しくなり、それを踏まえてかなり変更になっております。“生涯学習の推進も含めて、込められている思い”とご理解を頂ければと思います。

・資料Ⅱ 教育目標

教育目標は健康、誠実 敬愛と変わっておりません。本校は創立65年となりますが「誇れる上級生 学ぶ下級生」を掲げ、“学力と知性、豊かな心を確かなものにし、社会に貢献できる人材を育てる学校づくり”を掲げて進めております。

・資料Ⅲ 目指す学校像

1点目は“生徒が生き生きと学べる学校”です。これは西東京市教育計画で“持続可能な社会の創り手の育成”にあたると思います。

“思いやりと礼儀があり、優しさ、あったかさ”に、本年度は“人間関係の充実”が新たに加わりました。本校は前年度から不登校加配校として不登校をなくすという取り組みを行っているが、そのベースの一つとしては人間関係をきちんと作っていくことが大事ではないかと考えています。教師と先生、生徒と生徒同士の絆を学校内できちんと作り、不登校になりにくい学級や学年をつくっていかうということが書いてあります。

2点目は、“一人ひとりを大切にし、誰一人取り残さない学校”最近盛んに言われていることで、西東京市教育計画にもはっきりと明示されている“子供が安心して学べる「誰一人取り残さない」教育の実現です。こちらは昨年度からの引継ぎ事項になります。

3点目も昨年度からの引継ぎ事項となりますが、“生徒の資質・能力を伸ばせる生徒主体の学校”あくまでも子供中心です。ということですが、特に今年度は生徒それぞれの自分が安心できる場所を作ろうということで“生徒それぞれに居場所のある学校”を目指しています。何か自分で頑張れる場所や自分がここにいると安心できると感じられる場所をつくっていけると良いと思っています。

4点目は、“教職員が目的をもって経営参画し、生きがいを感じる学校”教職員も幸せを感じ、働き甲斐のある学校であることが大事だと感じています。子供たちだけでなく、文科省や西東京市教育計画にもある“ウェルビーイングの向上”という言葉を加えています。

5点目は、“保護者や地域が信頼し、ともに育む学校”市の計画でも“学校、家庭、地域で共に育む環境”ということで、こちらに関してもコミュニティスクールにかなり期待をしているところです。

・資料Ⅳ 目指す生徒像

1点目は“自分も他人も大切にする生徒、その上で主体的に自身の力の向上を目指す生徒”これも市の教育計画に“持続可能な社会の創り手の育成”ならびに“ウェルビーイングの向上”に当たると思います。

“受け身ではなく主体的な学びの姿勢をもつ生徒”この主体的な学びの姿勢というのは、2年前にICT、タブレットが導入され、研究校としてやった時、“タブレットを使うということは子供主体の学びをつくることだ”というのが最終結論でした。そういう意味では研究以降も続いています。具体的には“子供が未来を拓く、生きる力の育成”を目指しています。

2点目は昨年と同様ですが“相互に人権を尊重し、支え合う生徒、人に優しい生徒”です。

3点目は“社会性を大切にし、自分の居場所がある生徒”ということで、先ほどの居場所という言葉が再び出てきました。

4点目は“自ら考え判断、表現し、メタ認識ができる生徒”特に自己認識、中学生ですので俯瞰的に自分を見ることができていることが大事だと考えています。幼児的な万能感ではなく、自分自身を大人の目線で見ることができている生徒を育成することが、今後社会に出た時に大切な部分ではないかと感じています。その意味で小学校からやっている“キャリア・パスポート”で活動した後で必ず振り返りながら「ここはやったけれど、ここは努力が必要だ」というようなものをつくっていきたいと思います。

5点目は“取り組むことで、達成感を感じ、自己肯定感のもてる生徒”自己有用感とも言いますが、とにかく大変大事なことだと思っていますので生徒にもって欲しいと思っています。

6点目は“自ら課題を設定し、解決に向けて周囲と意見交換し、協働しながら学習する生徒”これは探求的な学習のことで、探求学習にも通じますが、新しい国の考え方も教科の学習だけではなく、探求的な学習は非常に大切であると盛んに言われています。そういったことを重要視していきたいと思っています。

・資料V 目指す教師像

要約すれば「目指す教師像」に向けて主体的に経営に参画する教師ということになります。“どのようなことを目指しているのか”を学校だけが思っているのではなく、教師一人ひとりや保護者、もちろん生徒も含めて共通理解していくことが大切だと考えています。もちろん出来ないこともあるので、それは課題としてお互いに解決に向けて努力していくことが大事だと思っています。

1点目は“一人ひとりの生徒をあたたく大切に育む教師、深い愛情をもって生徒の良き「聴き手」となり、支援する教師”です。これは二者面談、西東京市のスタートアップ期間が設定される以前から取り組んできました。西東京市あったか先生は西東京市の公立学校でずっと続いている取組です。特別支援教育推進ですが本校は特別支援教室の巡回設置校になっています。不登校削減は先ほどご説明をしたとおりです。エンカウンターやアクティビティの充実ですが、これは子供たちが学校での人間関係や仲間意識、自己主張をできるようになるために、ゲームや自己紹介などをやったりするプログラムを作るよう、今年は各教員に伝えました。学校開きや学級開きの時にお互いを知ったり仲良くなったりすることはとても大事で、その後の生活の質が大きく変わってくると考えています。そういったことを要所、要所でやりながら、生徒が安心して居やすい場所や上手な自己主張の仕方などを理解しながらやれるように指導することを伝えていきます。

2点目は“高い専門性をもち、創意工夫に満ちた分かりやすい生徒主体の授業に努める教師”で、ご存じのように中学校は教科担任制なので当然専門性は高いと思います。

3点目は“指導家庭で教師がファシリテーションすることで生徒の力を伸ばす教師”ファシリテーションというのは、向かうべきところにうまく持っていくための力ということで、教師がある着地点に向けて生徒をもっていけるように、生徒

の発言を促し、発言が出るように生徒に言葉掛けや働きかけをする力配分をすることで大きく変わってくると考えています。

4点目は“ICT活用能力の向上に努める教師”これはタブレット使用に関わることで必ず使ってくださいということです。

5点目は“教育活動全体（授業、行事、諸活動、地域との関係等）において目標を設定して組織的に取り組む教師”これはふるさと探求学習や、先ほど申し上げた学校評価表のことです。教師自身で目標を設定し、行ってくださいということです。

6点目は“臨機応変にスピード感をもって解決すべき課題を見付け改善を行う教師”ということで、今まではPDCAサイクルでやっていましたが、これですとのんびり過ぎて間に合わないことが多く、今はOODA サイクル、つまり見て観察してから方向付けや状況判断した上で意思決定し、実行に移すというサイクルです。とにかく目の前の課題の状況判断を素早くスピーディに回していかないと、生徒や保護者への対応や生活指導も含めて間に合わないだろうということで、より迅速なスピード感をもって解決するように今年度から方向転換をし、それができる教師を目指し、目の前の課題は直ぐに解決できるよう組織的な対応をお願いしています。

・資料VI 目標達成のための学校経営方針

ここからが比較的に具体的な話になります。

1. 感じ取り、考える生徒のために（学習指導・生活指導において）

- ・生徒が主体となる指導について具体的に説明しています。
- ・個別最適化された学びにおける指導の個別化、学習の個別化を取り入れ、協働的な学びとのベストミックス実現 子供が未来を切り拓く「生きる力」の育成ということで教育計画にもあり、ここに個別最適化が書かれています。
- ・より良く粘り強く生徒が学べる環境の構築 本校では子どもの勉強の支援ができないかということで、一部の教師は考査前質問教室を実施していましたが、これをもう少し定義付けしたいと思っています。また、授業評価ですが年2回、生徒に授業内容の評価を取っています。
- ・ファシリテーションできる生徒の育成 将来的に子どもたちがファシリテーションできないと、組織人として社会で活躍できないと考えています。企業や会社に入って目的を達成するためにはファシリテーションはとても大事なことだと考えています。ほとんどの場合、生徒たちは4人の班で活動していて、子どもたちの発言率をアップさせるように促しています。
- ・問題解決学習や探求活動で様々な方法を考え、より良いものを選択し、取り組むことができる生徒の育成 思考力、判断力、表現力を育成することとなっています。
- ・指導と評価の一体化、教師と生徒が共通理解をした学び、特に学びに向かう力を大切にしたい指導 中学校の評価は高校受験があるのでとても厳しいこともあり、目標レベルまで到達できるように指導しています。それが評価経計画シラバスです。
- ・自分を大切に自己有用感醸成、他者理解の推進、学級や学年での居場所づくり 面談、少し気になる生徒に対するハイリスク生徒管理、生徒の多様性を重視とはLGBTQを含み、特別支援教室推進、アクティビティ推進です。
- ・不登校生徒へ寄り添った対応と指導 子どもが安心して学べる「誰一人取り残さない」教育の実現です。

- ・生徒が主体的により良い校内生活を考える風土の醸成 市長も言っていますが、子ども中心「子どもど真ん中」ということで押しつけではなく子供たちが考える、より良い生活のための校則や委員会活動や部活動をしっかりと考えることを推進しています。
 - ・保護者との「目指す生徒の姿」や情報共有推進 保護者会、学年・学級だより・学級学年経営案作成ですが、まずは年度初めにきちんと経営案を考え、できなかつたらその原因を考えていくことを提案しています。
2. 感じ取り、考える教職員を目指して（経営参画・組織員として）
- ・経営方針に添った目標を教職員自身が具体的に設定し、自己評価する経営参画 教職員が経営方針を具体的に設定し、自己評価が上がるようにしてくださいということです。
 - ・質の高い公立学校としての教育を実践、西東京市や東京都の教育理念を大切にしたい取組 私は「究極の普通」を目指しています。変わったことをする必要は全くなく、高い質の「普通」の教育の勧め、多様な「学び」と「つながり」に通じた生涯学習の推進をしています。
 - ・業務の効率化（時間、物、意識の整理）をした働き方改革 教員自身の時間を作りながら、子どもの時間も確保できるように上手く時間を割り振るなどの意識の整理をすることです。
 - ・地域学校協働活動において工夫と連携を重視 学校運営協議会も含めて学校、家庭、地域で共に教育環境を引き続き作るということによりよろしくお願いいたします。
3. 信頼のある学校のために（職務・サービス・教育公務員として）
- これは“教育公務員としてどうあるべきか”という人権教育です。
- ・西東京あったか先生の主旨に沿った人権感覚 生徒がいてもいなくても言葉使いに気を付けるなど、虐待、いじめ防止、不登校生徒に寄り添った指導を推進しています。
 - ・サービス規律の遵守 サービス事故はゼロ、机上はフラットな状態で物を置かずに整頓しましょうということです。
 - ・地域との協働による地域連携
 - ・ハラスメントのない職場づくり いろいろなハラスメントがありますが、あらゆるハラスメントは禁止、お互いに気を付けましょうということです。
- ・資料Ⅶ OODAによる生徒の育成・経営
先ほどお話いたしましたOODAの説明の分かりやすい図解になります。
 - ・資料Ⅷ 参考 西東京市教育計画基本方針（令和6年度から令和10年度）
西東京市の新しい教育計画基本方針4つを先生方に徹底するつもりですので参考までに添付いたしました。

校長： 急いでご説明させていただきましたが、何かご質問等がございますか。

委員： VIの3点目“より良く粘り強く生徒が学べる環境の構築”のところでは授業評価は年に2回とあるが毎学期ごとの3回の方が良いのではないかと。

校長： なぜ2回となっているかというと、1学期が終わって評価し、その集計を2学期に出し、2学期が終わって評価し、その集計を3学期に出すスパンで2回となっています。3学期は短く生徒の評価が定まらないこともあり、サイクルが合わないという状況で2回となっています。また今後には検討はしたいと思っております。

委員： 保護者や地域が信頼し、ともに育む学校という項目に関する提案です。

私はNPO法人の“アジアに学校を作る活動”に参加していて、2年前から住吉小で“ベトナムに学校を作る”という活動に関わっています。今年入学した新一年生は小学校5年生から活動に関わっていることもあり、もし今年もできれば3年目となることもあり、ご紹介とご提案させていただきました。

会長： 教師の負担を軽減するという目的の部活動指導員ですが、今年度はどうなっていますか。

校長： 昨年度はサッカー部に2人、自然科学部に1人で3人の部活動指導員にお世話になりましたが、自然科学部の方がご高齢のためお辞めになられたので、今年度はサッカー部はお二人となります。

副校長： 今年度のサッカー部は現在1人の指導員と指導員を希望されている方が1人いらして初めは補助員として加わり様子をみて部活指導員になる予定になっています。

校長： 地域協力者として吹奏楽部、バドミントン部、女子テニス部に入っていますが、ほとんどの方が準公務員としての部活動指導員になることには収入面で多くなりすぎるとか、店舗経営の傍らインストラクターとして来ていただいているので辞退されています。なかなか人選が難しく、できていないのが現状です。

会長： 補助金申請というのは今からで間に合うのですか。

校長： 各校で100万円の予算が決まっています、その予算内で指導員に割り振ることになっています。昨年度はほぼ使い切ったと思います。

副校長： 部活指導員の人選はなかなか難しいところがあります。今までは教員が行っていた部活動では、技術指導だけではなく問題が起きた時の対処とかの生活指導や大会などの引率もあり、それを部活動として受けて下さるには責任が重くなり人材を見つけるのがなかなか難しいところがあります。

良い人材をご存じでしたら是非ご紹介いただきたいと思います。

会長： 給食が全員無償化になりましたが、今までお弁当持参の生徒はどうなるのですか。

校長： アレルギー対応でお弁当持参の生徒は、今までと同様に全面的あるいは部分的にお弁当持参となります。数的にはほとんど変わっていません。

会長： 給食の時、教員は教室に立ち会うのですか。

校長： 給食指導の職務になるので必ず教員は指導します。給食は生徒と共に食べ、給食費は支払っています。昼休憩は後で45分取ることになります。

委員： この4月からひばり中学校では多言語対応対策が始まるようですが、二中の現状はどうなっているのですか。授業を受けることが難しいレベルの生徒はいるのですか。

副校長： 以前、中国からいらした生徒に対応したことがありました。西東京市では在籍中100時間の日本語授業を受けることができるので、本人や家族の同意のもとで授業中に別室で市からの派遣教員と個別授業を受けていたことがありました。それでも充分ではない場合は、NPO団体の西東京市多言語文化共生センター（通称NIMIC）が開催している日本語教室に、個人的に放課後通って勉強するようになっています。NIMICから年に3回くらい進捗状況をいただき、現在1名の生徒がNIMICの日本語教室に通っています。日常生活に困るレベル生徒はいない状況です。

委員： 第二中学校経営方針の資料のⅢの3番目の・の後に“～学校、”※となっていますが、これはつなげる感じですか。

校長： ご指摘ありがとうございます。これは誤植で、※は補足説明となります。

委員： ※の補足説明は学校経営方針には記載されるのですか。

校長： 記載されます。

委員： 資料3ページ目の(4)のフォントが違うので修正をお願いします。

校長： 私も気になっていました。申し訳ありません。修正します。

会長： 次第に“学校経営方針の説明と承認”とありますが、次の課題が“今後の活動についての提案とご相談”ということですので、皆様のご意見や質問をお伺いした後で、承認は諮りたいと思います。それでは提案と質問はありますか。

委員： 次回のペンキ塗りも階段になるのですか。予算申請をするために教えていただければと思います。

副校長： 今年度も階段のペンキ塗りを予定していますが、前年度は卒業式翌日の祝日が実行日で、次の日は登校日で生徒の中には科学物質にアレルギー体質の生徒もいましたが少し臭いでしたが問題はありませんでした。今年度は土曜日に実行を予定したいと思います。とてもきれいに塗ることができましたので是非ご覧になっていただきたいと思います。

会長： 同窓会に予算申請をお願いすることになりますが、状況的にいかがですか。

委員： 状況はかなり厳しいです。学校は西東京市のものなので市役所から予算が出ない以上、市の教育委員会の予算で修繕という形で業者に依頼してもらい、業者と同じ日に地域協力者もペンキ塗りをすることがベストではないかとの意見もありました。厳しいお叱りの声などもありました。

副校長： 今回は参加してくれたボランティアの方たちにお礼として飲み物を副会長が提供していただきました。例えば、そのお礼の飲み物を提供していただくとかでも、大変ありがたいと思います。

委員： ペンキ塗りを実行すること自体に難色を示しているわけではないので、4月28日の同窓会総会で頑張って説明したいと思います。一度市役所から予算が出れば、次回からは問題なく同窓会から予算獲得ができると思います。

副会長： 前回、ご提案として計画書出ささせていただきました「子どもたちの放課後の居場所」は、この協議会の中でPTAの方から「放課後自習室」とは別に居場所を設定できないかという提案があり計画書にまとめました。先日、ボランティア部の生徒と話す機会があり、この「放課後の居場所」について丁寧に説明をしましたが、“何をするのか、どのように使うのか”など分かりづらい様子でした。生徒たちを交えて話して作り上げていかないと全くイメージがわいてこないことが分かりました。「居場所」という言葉自体が生徒にとってはピンとこないらしく、しっかりと生徒たちと話し合いをしたいと思います。子たちとの相談日が決まりましたら、皆様にご連絡を差し上げますのでよろしく願いいたします。もう一点ですが、本日お迎えした新しいメンバーの方の名簿リストや所属を記した資料がほしかったと思いました。以上です。

会長： 学校経営方針について承認をする前にひと言ずつ頂きたいと思います。

全員： 意義ありません。

会長： 委員全員、意義がないようなので、承認といたします。

副校長： 私の方から、今年度の確認や取り組みについて紹介させていただきます。コミュニティスクールが主体となり取り組んでいる活動にいくつかあります。一年生向けに“職業講和”があります。地域の方に来ていただき職業についてお話していただきます。次に“職場体験”が二日間あります。地域の方々に受け入れていただき生徒に職場体験をさせていただきます。また、夏休みには“補習教室”を開催して地域の高校生などに教えていただく教室があります。夏休み中には“地域清掃”が2日間にわたり行われます。地域の方々にご参加いただき、二中の周りをきれいにする取り組みです。先ほど申し上げました“ペンキ塗り”があります。

校長： あとは「放課後の居場所づくり」についてですが、“学校だけではなく地域の皆様にも子どもたちは見守られている“ということを実感してもらえれば良いと思います。

二中にはもともと“放課後カフェ”がなかったため、子どもたちにとってイメー

ジがわからなかったのだと思います。

副校長：「放課後自習室」の初年度は学校運営協議会が主体となり活動していましたが、昨年はPTA主催となり運営を行っていただいています。見守りのボランティアが足りなくなると副会長を通してお声掛けをしていただいたりしています。今のところ、以上の活動を予定しています。この他にご提案がありましたら、また、こちらからお願いすることもあるかと思いますがよろしくお願いいたします。

副会長：二中のコミュニティスクール活動の一覧表を作り、教職員、生徒、保護者などが活動内容が分かるように、コミュニティスクール掲示板に掲示すると良いと思います。よろしくお願いいたします。

委員：「地域清掃」ですが、掃除した後に生徒たちが新学期を迎えられた方がよいと思います。

副校長：状況を鑑みで、時期についてはまた相談させていただきます。

副会長：「放課後の居場所」は子どもたちが勉強以外のことで、学年を越えての対話や地域の人も交えて対話しリラックスできる場所を作っていきたいと思っています。あくまでもそこに来る生徒の人数で評価するのではなく質的な物を求めたいと思っています。そのためにはPTAの方々、CS委員の方、子どもたち、教職員たちそれぞれのご意見をしっかりと聞きし、決めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

会長：時間が押してきましたので、「谷戸公民館まつり」についてお願いいたします。

委員：4月27日土曜日、28日日曜日の二日間で第36回谷戸公民館まつりを開催いたします。地域の方の展示とか公民館を利用しているサークルなどの発表、また近隣の小中学校の生徒さんの展示も行います。地域のお祭りですので盛大に行いますので、お知り合いの方がいらっしゃいましたらぜひ参加していただきたいと思います。机の上に配布いたしましたチラシですが、谷戸公民館開館40周年ということで実行委員を個人団体問わず募集させていただいております。CS委員の方に実行委員になっていただき公民館活動を盛り上げていただければと思います。第一回実行委員会は、谷戸公民館で5月18日土曜日の10時から開催されますのでご都合がよろしいようでしたら是非ご出席をお願いいたします。

最後に、公民館でも「居場所づくり」ということでロビーを開放し、令和5年議会でWi-Fi使用が承認されました。生徒はタブレットをアクセスすることもできます。ウォーターサーバーの設置の予算も取れましたので使用することができます。また、図書館を併設しておりますので勉強もできるということで3点のお知らせをいたしました。よろしくお願いいたします。

副会長：現在、コーディネータをやっておりますが、いろんな場面で地域の方にお知らせすることが多いのですが、委員の方々にもどんな活動をしているのかを知っていただくために、副校長を通して突然皆様にメールを差し上げることがあると思います。皆様にご了解いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

会長：それでは事務連絡をお願いいたします。

次第3 事務連絡

副校長：時間が押してしまって申し訳ございません。学校運営協議会には報酬がございません。後ほど青い用紙をお配りいたしますので、ご辞退される方はお帰りの際にご提出をお願いいたします。

また、机上の入学式のご案内チラシですが、皆様には是非ご出席をいただきたいと思っています。席などの準備もごございますので事前に私の方に出欠をお知らせいただければと思います。

お忙しい中、大変に申し訳ありませんが学校運営協議会の周知と記録のために、

今年度の皆様のお写真を撮らせていただきたいと思います。後日、その写真は掲示したいと思いますので、皆様の了解をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

会長： これで第1回学校運営協議会を終了します。
それでは写真を撮りますのでご用意をお願いします。
本日はお忙しい中、ありがとうございました。